



クリスマスもお正月もちょっとだけ

～冬休みのすごしかた～

今日で2学期は終わりました。クリスマスにお正月……、楽しい冬休みがやってきた！といきたいところですが、今年は「受験」が控えています。この楽しみはちょっとだけにして、早く受験モードに切り替えてください。

年が明けて1月7日(水)の始業式の翌日8日(木)、9日(金)は第5回実力テストです。このテストは、公立後期選抜の受験校を決定する重要な資料となります。また結果によっては、公立前期選抜の受験校についても再考する必要が出てくるかもしれません。その後1月26日(月)～28日(水)の学年末テストと続きます。そしてよいよ本番、2月10日(火)は私学の入試が行われます。

今年の冬休みは12日間と短いので、進路に向けた学習は弱点の補強を目標に実力テストに備えるのがよいでしょう。各教科の自分の弱い単元に絞って問題を解き、必ず答え合わせをして、できなかった問題はできるようになるまで繰り返し解きます。

休みに入ると、ついつい夜遅くまで起きて朝起きるのも遅くなる、夜型の生活になります。しかし入試は午前中に行われます。夜型では午前中に頭が回転せず、実力が発揮できません。冬休みは規則的な生活を心がけ、朝型を維持しましょう。

暖房の効かせすぎにも注意しましょう。「頭寒足熱」といって足もとを暖め上半身は涼しいぐらいが健康にも良く、頭がさえて勉強がはかどります。

いよいよラストスパートです。今一度計画を見直し、悔いの残らないよう頑張ってください。



進路相談で合否は決まらない

～私学進路相談～

先週の19日に進路懇談が終了し、進学の人は、受験する私学と公立前期選抜校を絞り込んだと思います。その内容については、22日に、校長先生はじめ主立った先生方と3年の先生方で会議を開き、皆さん一人一人の進路について妥当かどうか検討しました。その結果は、懇談会での担任の先生との話と異なる場合のみ、連絡させていただきました。

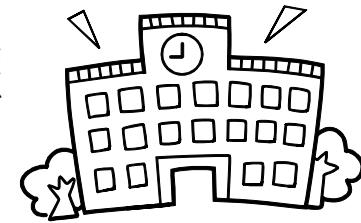
1月7日(水)から私学の進路相談が始まります。これは前にもお話ししましたが、本校

教員が高校の先生と皆さんの合格の可能性について相談することです。これで合否が決定するわけではありません。

相談で高等学校等に提示する個人情報は、これまでのテストの得点、通知票の評定、クラブ活動や委員会活動で顕著な活動を行った事実、英検、漢検、数検などの資格などです。保護者や兄姉がその学校に在籍・卒業している場合、有利に扱われることがあるので、その方の名前と学年・卒業年度を担任の先生に知らせてください。

進路懇談で、私学の受験校(進路相談に行く学校)を決定しました。多くの学校を見学し、自分の学力を考え、いっぱい悩み、家族や担任の先生ともよく相談して決めた進路です。変更することはないと思いますが、万一冬休み中に考え直す必要が出てきましたら、1月5日(月)までのできるだけ早くに担任の先生と相談してください。1月6日(火)以降では進路相談に間に合いません。12月27日(土)～1月4日(日)はほとんどの先生は出勤しませんので、担任の先生への連絡は難しくなります。

また、進路懇談で決定した内容と異なる科やコースで出願するつもりの人(例えば「懇談で『進学コース』に決定したが回し合格を考えて『特進コース』で出願する」等)も、5日(月)までに担任の先生に申し出てください。



もう提出しましたか？

～私学願書取得～

16号でもお知らせしましたが、私学の願書は取得できましたか？ 今日現在で、およそ半数の人が担任に願書を提出しています。1月7日(水)の3学期始業式には、必ず全員提出してください。

まだ私学の願書を取得していない人は、1月6日(火)までにまでに高校に取得に行ってください。多くの私学は、12月26日(金)までと1月5日(月)からしか窓口が開いていません。取得には、必ず正しい制服で、徒歩か電車、バスで行ってください。

入試に論文がくる

～公立高校前期選抜～

公立高校前期選抜では、総合学科だけでなく、体育科等の実技検査を実施する学科とクリエイティブスクール、エンパワメントスクールを除き、普通科を含む全ての学科で小論文が出題されます。普通科など多くの学科では、3教科各50点満点に対し小論文は30点満点と、かなり大きな部分を占めます。

本校でも国語科で、希望者には添削指導を行っています。論文はとにかく書かなければ力は付きません。前期選抜を受験する人は、この冬休みにできるだけたくさん書いて、添削指導を受けてください。詳しいことは、末利先生か西森先生に相談してください。